



トレッキングに笑み

北山崎自然遊歩道が平成14年8月、日本の「遊歩百選」(読売新聞社主催、総務省、国土交通省など後援、JT B特別協力)に選ばれた(「広報ふだい10月号」に掲載)記念(村と田野畑村主催、三鉄の共催)に、「自然に親しみ、豊かな心と身体健康づくりを目指しましょう」と、紅

葉の「北山崎・黒崎海岸を望む道トレッキング」が10月20日、小雨煙る中、約50人が参加して行われました。トレッキングコースは、村くろさき荘から北山崎展望台までの10.2km。参加者たちは、思い思いに健脚を確かめ合いながら、ゴール地点を目指しました(写真)。

そう快な汗で到着した参加者たちを待っていたのは、うれしい「三鉄汁」。おいしそうにほお張る顔は達成感でいっぱいの様子でした。



村民ギャラリー

『あの人のこんな作品』展示

十月二十九日から十一月十日までの二十日間、村教育委員会主催(沼田秀雄教育長)の第二回村民ギャラリーは、ふれあい交流センター・図書室で開かれています(入場無料・毎週月曜日は休館)。

村民ギャラリーには、習字、短歌(上区の嵯峨初三郎さん・七五歳)、竹細工、藤工芸(同・熊谷栄喜さん・六五歳)など村民の芸術作品約八十点が展示されていて、訪れる村民の皆さん「写真」をホット

に楽しませてくれています。

第一回村民ギャラリーは、九月十二日から二十五日間、同会場で開催され、期間中には約百二十人が芸術作品を堪能しました。緑区の阪下正巳さん(七三)のマツやツツジの盆栽、旭日区あさひの佐々木裕子さん(四〇)の籐で作った小物入れなど合わせて約三十点を展示、好評を博しました。

同図書室では、今年中に三回目の村民ギャラリーを予定しています。

生涯学習 村民のつどい

講演

『やさしい街やさしい人』



は、女優の石井めぐみさんを招いて村社会体育館で約百八十人が参加して行われました。

講演会には、重度障害を持つ

十月三十日、「やさしい街やさしい人」と題した生涯学習、村民のつどい

息子との生活を振り返りながら、その中で学んだ幸せの意味や、家族のあり方など障害者と健常者がともに手を取り合って生きることこそが、やさしい人ややさしい街づくりにつながるが、力強いのだと優しさをこめながら力強く語ってくれました(写真)。

参加者たちは、石井さんの言葉一つ一つにうなずきながら、聴き入っていました。

講演終了後は、抽選会が行われ、五人の方々に石井さんのサイン入り色紙がプレゼントされました。